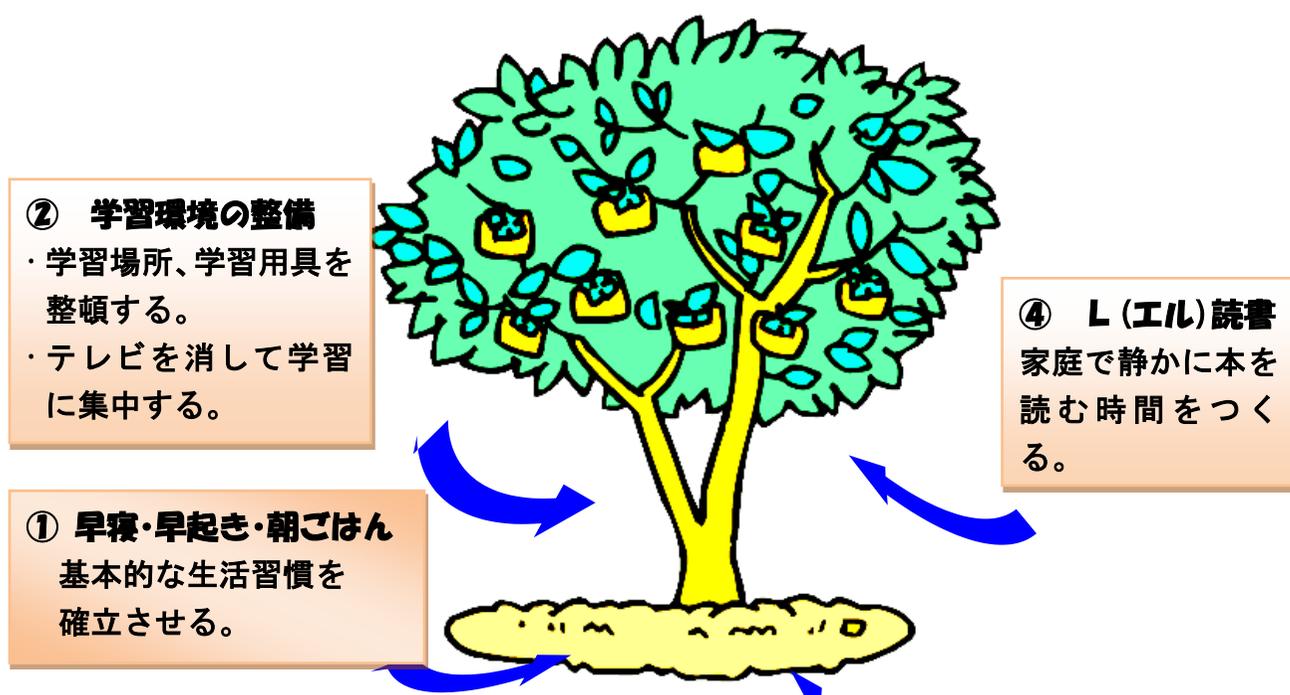


きつづをはぐくむ家庭の力

令和7年度 木津川市立木津小学校

保護者の皆様へ

木津小学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。子どもたちの質の高い学力を育てていくために、保護者の皆様にもご協力いただき、家庭と学校とが連携して取組を行っていくことで、より確かなものになっていくと考えています。よりよい家庭学習の習慣化に向けて「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、お子様の学力向上に役立てていただきますようご理解とご協力をお願いいたします。



家庭学習の内容

- 1 学校からの宿題
音読、漢字・計算練習（ドリル・プリント）、日記など
- 2 自主学習
授業の予習、復習
自分が興味あることの調べ学習など

家庭学習のススメ

木津小学校では、宿題に加え、児童自らが自分の学習状況に合わせた内容を考え、取り組む学習を家庭学習と位置づけています。高学年はもちろん、中学年、低学年もそれぞれの学年の発達段階に合わせ、取り組んでいきます。

宿題 + 自主学 = 家庭学習

家庭学習には、3つのねらいがあります。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

漢字の「読み書き」や「計算」、「音読」など、基礎的・基本的な知識・技能の習得には、何度も繰り返して練習することが必要不可欠となってきます。もちろん学校からは「宿題」として、これらを課題として出しますが、これだけでは必ずしも十分であるとは言えません。個々の学習状況に合わせ、さらに練習を進めることで、学習内容の習熟を図り、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができます。

② 自分で学ぼうとする意欲の育ち

近年、主体的に学ぼうとする姿勢が大変重要視されています。家庭学習では、自分をもっとやってみたい学習など、自分で内容を決めて取り組むことができます。「調べると楽しそうだな。」「やってみたら楽しかった。」というように、日々の主体的な学びによる喜びを蓄積していくことで、それが次の学びへの意欲につながり、自ら学ぼうとする児童を育てていけると考えています。

③ 学習することの習慣づけ

毎日机に向かい学習する習慣を付けることは、どの学年においても非常に重要です。毎日、少しでも家庭学習に取り組んでいくことで、それが習慣になっていきます。家庭学習が習慣となることで、学年が進むにつれ高度になっていく学習内容も、確実に習得していくことができます。学校での学習に加え、家庭をベースとした学習習慣を形成していくことが、今後の子どもたちの成長のためにはとても大切です。